

# ANJIN

vol.28

2022 Autumn

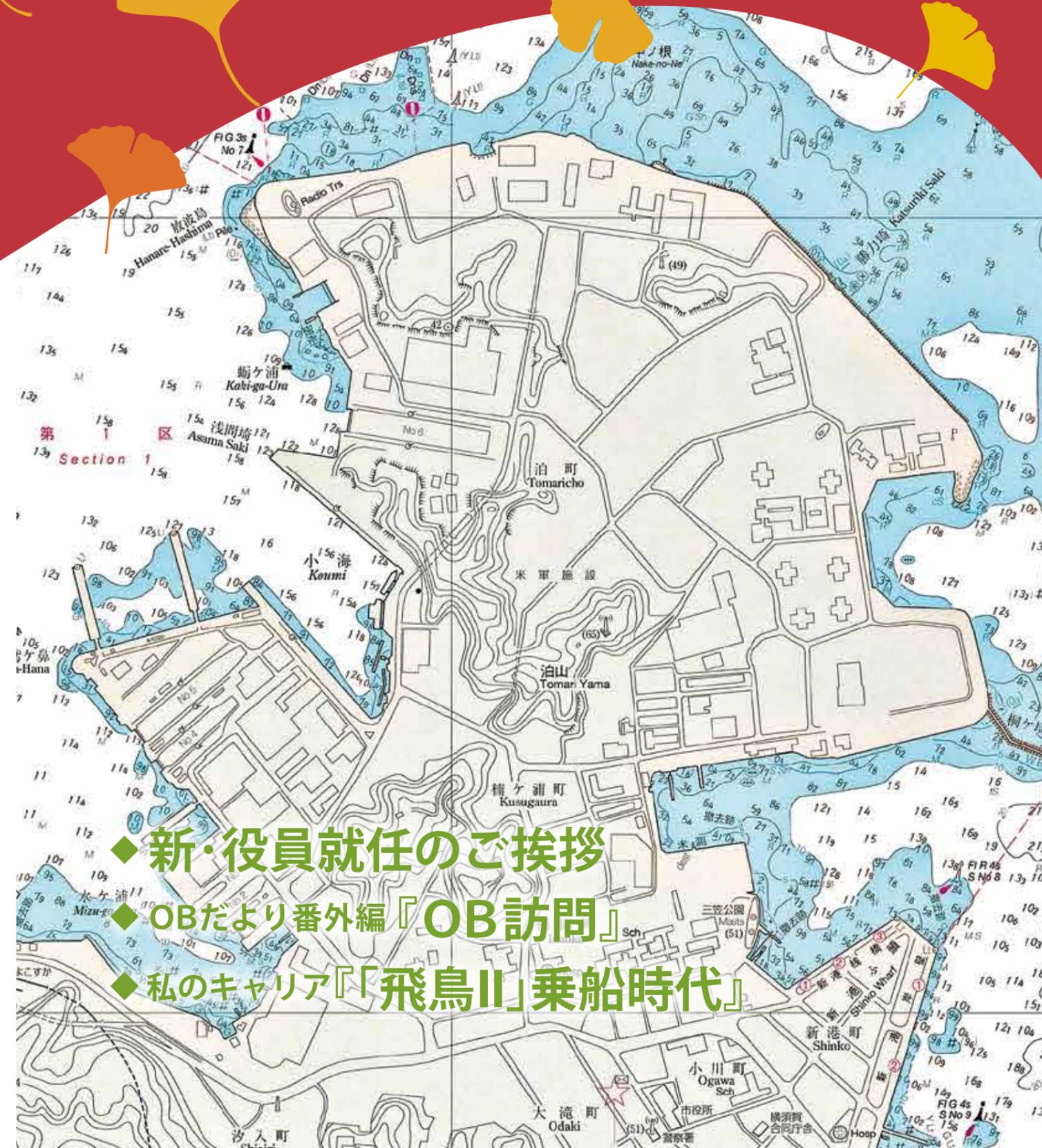
季刊



<http://www.tokyobay-pilot.jp/>

ANJIN 第28号 2022年10月1日発行  
発行所/東京湾水先区水先人会  
編集・発行/広報チーム  
〒231-0023 横浜市中区山下町1番2  
パイロットビル  
TEL 045-650-3180

記載内容に係わる個人情報や会報内容について、当会に無断での転載・転用を禁止する。



- ◆ 新・役員就任のご挨拶
- ◆ OBだより番外編『OB訪問』
- ◆ 私のキャリア『「飛鳥II」乗船時代』

## 会長就任挨拶



会長  
足立 和也  
(あだち かずや)

この度、総会で会長に選任されました足立です。神奈川県出身で、趣味として年に数回、旅行をし、その土地の美味しい物と温泉を楽しんでいます。しかし最近ではコロナでそれもままならず、早く落ち着いて以前のように出歩けるようになることを心待ちにしています。最近では老眼が進み、以前から好きだった読書も老眼鏡が煩わしく、その機会が減ってきています。

私が入会して14年が経ちます。以前は外航船の船長を勤め上げ、船乗り人生の集大成として水先人となった方々がほとんどでした。しかし最近では、水先人となる方々の出身母体が多様化し、会員としての意識や働き方が大きく変わってきています。

現在、当会は20代から70代までの幅広い年齢構成となっており、さまざまな価値観や家庭事情を抱えて働くという状況になっています。そのさまざまな意見や価値観を持つ会員の皆さまから、日々の業務の中で考え、また感じたことを発信していただくことが重要になります。それらをわれわれ全員で共有し、ともに考え議論することで東京湾水先区のように働きやすい環境を実現することができると考えています。

ここ2年、コロナの影響により東京湾に入ってくる船舶の隻数が減少し、なかなか回復の兆しが見えてきません。今夏からは外国の観光客の受け入れも進み、客船の運行も再開されるということですが、貿易面での回復はもう少し遅れるのではとの見方が大勢です。

一方、船舶の安全航行に対しては、年々関係官庁を含め関係先の対応が益々厳しくなっています。会員の皆さまにはより一層の安全運航に努めていただくようお願いします。

このような会を取り巻く内・外部環境の変化や船舶の大型化などを鑑み、現状に即した安全教育のありかたはどうあるべきか、皆さまとともに見直しや拡充を進めてまいりたいと思います。

また、今回選任された役員一同、皆さまが安心して心置きなく業務ができるよう、全力でサポートいたして参ります。皆さまも、いろいろな意見を遠慮なく我々に発信し、また問題を提起していただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、会員の皆さまにおかれましては、コロナも含めて健康に留意され、負傷することなく、安全安心な水先業務の遂行をお願いいたします。

## 目次 Contents

Vol.28 ~ 2022 Autumn ~

新・役員就任のご挨拶	3-5
OB だより番外編 ~ OB 訪問~	6-8
ANJIN 私のおすすめ / ANJIN 編集委員の紹介	9
私のキャリア	10-11
MY FAVORITE	12-13
期待の星	14
人事短信	15

表紙 / 海図コピー (海上保安庁・海図 W1083「横須賀」から転載)

### ANJIN【あん-じん・按針】とは？

磁石によって船の航路を決めること。また、その人。水先案内。按針手。  
《補説》水先案内の意の「あんじ(行師)」の変化したものか。

(「デジタル大辞泉」から転載)

## 副会長就任挨拶

本会では6月の選挙に於いて、梶山秀行(再任)・雨宮伊作(新任)・黒田富治(新任)の3人の副会長が選任されました。皆さんに就任のご挨拶をいただきました。



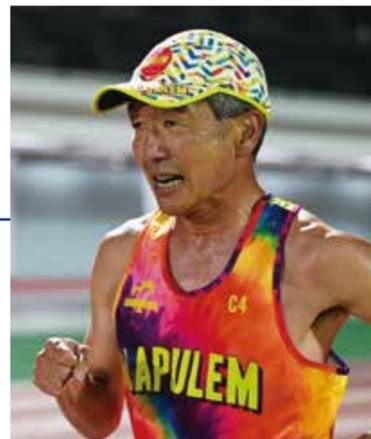
副会長  
梶山 秀行  
(かじやま ひでゆき)

この度副会長に再任され、さらに一年間事務所に勤めさせていただくことになりました。引き続き、皆さんとともにより良い会となるよう汗をかいて行く覚悟です。

この1年間、思い返してみれば当会ではコロナ禍に翻弄されっぱなしでした。そのコロナ騒ぎも3年目となり、今では感染爆発こそ小康状態となるも、さりとて沈静化の道筋は未だ見えずというところ。まだまだ長いお付き合いとなりそうです。

昨年、就任直後に植替えた職場フロアの観葉植物群は、土を替え、受皿に水が溜まり過ぎないように工夫した結果、今ではすくすくと再び成長を始めています。適正な環境においてあげれば植物は育ちますが、そうやって安心していたら最近鉢の一つが元気ないことに気づきました。あわててそれを自宅に持ち帰り、鉢、土を入替え今様子見です。元気がなくなった原因は同じ鉢に植えてあった「ユッカ(青年の樹)」の根と競合しあったことでした。やはり植物も、我々の作業も目を離さず継続して注意し、状態に応じて対応することが重要であると再認識した次第です。

会としても変化する経済状態に目を向けて現実的に対応し、自らは研鑽を重ね、後に続く人達の成長に力を貸し、持続的な成長を目指すこと、気持ちを新たにしました。



副会長  
雨宮 伊作  
(あめみや いさく)

この度当会副会長に選任されました、雨宮伊作です。どうぞよろしくお願いいたします。

新たに就任された足立会長から、当会本部5階において、海務、業務、教育訓練を所掌するよう申し付けられ、6月から着任しております。まだまだ慣れぬことが多々ありますが、会員および役職員の皆様のご助力をいただきながら、力を合わせて会長を補佐し、与えられた任務をしっかりと遂行したいと考えております。

水先人になる前は航海訓練所で30年間、練習船の運航と船員の教育訓練に携わってききましたので、当会の教育訓練システムの充実にご寄与し、それが安全性の向上につながるよう努力したいと思っております。

趣味は、トライアスロンで、「世界トライアスロンチャンピオンシップ横浜大会」には、4回出場しています。けっして優秀な選手ではありませんが、今後も時間を見つけてコツコツと練習を続けていく所存です。

なによりも大切なのは、皆様が安全に楽しく仕事をできる環境を整備することだと思いますので、会が一丸となって仕事が進められるように、汗をかき走り続けたいと思います。お気づきのことあれば、どうぞ気軽にお声がけをいただきますようお願い申し上げます。



副会長  
黒田 富治  
(くろだ とみはる)

この度、副会長に選任していただき、6月から会長の指名を受けて就任しました、新制度7期生(2014年4月入会)の黒田です。当会では初めての本部勤務にて未熟で不慣れですが、他の副会長と連携を保ち会長を適切に補佐し、責務を全うしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

出身は弥生土器も発見されている広島県最西端に位置する大竹市です。そのの平家・落人の末裔が落ち延びたといわれている、瀬戸内海に浮かぶ周囲11kmほどの小さな島で生まれ、山や海の自然に囲まれるのんびりと育ちました。その後は忙しく、国内外11回もの引越しを繰返して、落ち着いた場所が横浜の内陸部「青葉区こどもの国」線沿いです。

水先人になる前の海運会社では、海上職15年、陸上職18年の勤務を通して、さまざまな職場環境を経験することができました。加えて、これまでの水先業務を通じて培ったノウハウを生かして、今後も多様化する水先業界ならびに当会運営に対処していく所存です。

水先人および職員一人一人にも当事者意識を持っていただき、できれば貴重なご意見・ご提案を頂戴し、共に我々のための働きやすい職場づくりに誠心誠意、対応していきたいと思っております。

時間があれば気楽に4階のデスクへ立ち寄ってください。どうかよろしくお願いいたします。

New Greeting

2020年に退会された元一級水先人の東海林明さんは、2021年9月から東京都杉並区で「子ども食堂<sup>※1</sup>」を始めています。今回はその「おぎよん<sup>※2</sup>」に訪問し、お手伝いをさせていただきながら、東海林さんご夫妻からお話を伺いました。

## “おぎよん”ならではに

当日の準備では、のぼりのセッティングや机の配置・清掃などは東海林さんが主に担当していて、食事作りは紀子さん主導のもと、東海林さんが食材を切ったり混ぜたりのお手伝いをしていました。所々で、お二人が互いに相談しながら、来てくれる方達が過ごしやすいよう色々と試行錯誤していました。

大前 食材などは、どのように調達しているのでしょうか？また、毎回献立を決めるのも大変だとは思いますが、どのように決めているのですか？

東海林 食材の多くは、近所の方々・知り合い等から直接届けられる野菜などや、区に寄付されるものなどで賄い、足りないものは寄付金や助成金で購入しています。届けられる野菜の中には、当会 OB の星野さんからのものもあります。なので、献立については、その時にある食材の中から考えています。主に妻が決めています、「なるべく毎回、どこかに手を加える」ようにしています。“おぎよん”に来たからこそ食べられるような、少し工夫をいれることを楽しんでいます。



長芋ハンバーグと  
タケノコご飯

▲ かつカレーと  
菜の花のかき卵スープ



## 子ども食堂を始めたきっかけ

大前 最初に、子ども食堂を始められたきっかけについて、お聞かせいただけますか？

東海林 昔から子ども食堂と決めていたわけではなかったのですが、水先人になる数年前から住み始めた土地で、自宅の1階と地下部分が空いていたため、何かに活用できないかと色々と考えていました。そうした選択肢の一つに子ども食堂があり、杉並区の社会福祉協議会(社協)に相談をしました。自宅の付近になかったこともあり、とても求められていると感じましたので、子ども食堂を開くことを決めました。活動をするに決めたからは、熱い情熱を持った地域の方々の後押しなどもあり、瞬く間に準備が進みました。そうした中、水先人の業務と子ども食堂の両方を行っていくのは難しいと感じ、子ども食堂に力を注ぐことにしました。

大前 子ども食堂は、奥様と一緒にされているのですか？

東海林 妻が調理師免許を持っていますので調理は任せ、私は予約管理と調整、広報・宣伝、社協や他の子ども食堂との連携、助成金申請等の会計管理などを主に担当しています。また、友人や近所の方々にもご協力いただきながら、開催しています。

※1… 地域住民や自治体が主体となり、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供するコミュニティの場。経済的理由や家庭の事情により、共食が難しい子どもにも共食の場を確保し、また地域コミュニティの中で、子どもが安心して過ごせる場所を提供することを目的としている。場所によっては、子どもだけでなく、いつも一人で食事している高齢者や、子育て中で忙しいママさんなど、大人も利用することができる所もある。

※2… 自宅兼子ども食堂がある、荻窪四丁目(東京都杉並区)の住所から「おぎよん」と命名された。

※3… 社会福祉協議会とは、地域の人々(一般会員)、役所や関連事業で働く人々(賛助会員)、企業で働く人々(特別会員)が会員となり構成されている民間団体であり、役所とは異なり地域の人々のものになる。



帰宅前のおみやげ選び ▲

小さなお子さんとお母さんと賑わう ▲

## 子ども食堂“おぎよん”

大前 どういう方が、どのように知って、訪れて来られるのですか？

東海林 訪れる方は、区の相談窓口で紹介を受けた方やチラシ、SNS 等を通じて知って来られる方など様々です。一度来た親子が何度もリピートしてくれることも多く、毎回ほぼ満員で賑やかに開催することができています。現在はコロナの心配もあり、1階部分では一度に最大8名ほどしか食事をする事が出来ないで2部制にしていますが、たくさんの方が訪れてくれているので、地下のスペースでも食事ができる様にしました。

大前 子ども食堂では、食事をする以外にも、何かしたりするのですか？

東海林 食後に私が地下で子ども達と遊んでいる間に、1階では、子育て中のお母さん達が妻やボランティアとの会話を楽しんだり、自由な時間を過ごしています。

大前 東海林さんが子ども食堂を行われていることの強みは何かありますか？

東海林 一番の強みは、自宅の一部を使って運営していることです。他の施設やスペースを毎回探したり借りたりしなくても済むため、余分な費用や手間がかかりません。週の数日を他のボランティア団体に貸出をすることもできるので、場所の有効活用が出来ています。

地下のフリースペース ▼



大前 子ども食堂の今後の課題はありますか？

東海林 来てくれた方々が、本当に支援の必要な人かどうかというのを調査するのは難しいです。ですが、それを“本当に困っている人たちに助けられていない”と思い詰めないようにしています。また、来てくれている方々の人数だけで、これだけ助けられていると思いがちでもいけないと考えています。地域全体で人助けや子育ての応援をし、私たちは、そのピースの一つと考え、活動を行なっています。

大前 子ども食堂を始められてからの、現在の実績を教えてくださいませんか？

東海林 2021年9月から始めて、2022年5月までに21回開催し、440食を提供する事ができました。

## 地域の方々との交流を大切に

大前 地下の壁には、一面に素敵な絵が描かれています。どなたが描かれたのでしょうか？

東海林 自宅前の高校の美術部員達が描いてくれました。彼らが、コロナ禍において部活動をおこなえる機会を失っているという話を聞き、地下の壁に描いたらどうかと提案をしたところ、実現しました。中高生の居場所作りを進めているボランティア団体にこの地下スペースを使ってもらうことも決まり、将来的には子ども食堂に来る子ども達と学生達との交流にも繋がれば良いなと思っています。

▼ 近くの高校美術部が地下の壁面を作成



空飛ぶくじらをモチーフにした壁画 ▲



おぎよん食堂メンバー ▲

## 訪問を終えて

最後に、今回、私は準備の段階から最後までお手伝いをさせていただきました。その中で、お二人が準備中から皆さんが帰られるまで、ずっと楽しそうにしていられることが、とても印象的でした。マスク越しに感じる東海林さんの温かい笑顔と、色々と話を聞いて欲しくなってしまうような紀子さんの優しさに包まれた空気感が、食堂の中にも自然と醸し出されていて、来ている方々も皆さん、本当に楽しそうに食事をされていました。

また、水先人は船員を経験されている方が大多数です。船員をしていると家を長期間空けるため、地域とのつながりが希薄になり、地域活動からは疎遠になりがちです。船員生活を終えた後、“自分が地域社会と何かでつながりたい” “自分が不在の間、家族がお世話になった恩返しをしたい” と考える方が多いと聞きます。\*4。そういった中、「子ども食堂」を主宰することで、積極的に地域との繋がりを築き、元気に活動をおこなっている東海林さんの姿を見て、私自身もこういった活動に興味をわきました。

大前 子ども食堂を始めてから、地域の方達との関わりかたなど、変わったことなどはありますか？

東海林 子ども食堂を始めたことがきっかけで、近所の方々が色々な差し入れをしてくれたり、今まで交流のなかった人たちとの繋がりもできました。

また、子ども食堂を始めてから、こういった活動に関心を持っている方がとても多いということを知りました。実際に、子ども食堂は月に2回(第2・第4金曜日)開催していますが、そのうち1回は近所の有志が調理を担当してくれています。また、我々の使っていない他の曜日に子ども食堂をさせてもらいたいという声もあります。そこで、何も行われていない日などには、子育て支援など、何か活動をしたくても場所がなく行うことが出来ないという方々のために、場所の開放などを行っています。そこから、子ども食堂の場所を通じて、地域の皆さんの交流の場にしてもらえたらと思っています。



◀ おぎよん食堂入口



▲ おぎよん食堂内



◀ おぎよんチラシ

## 子ども食堂 おぎよん

子ども食堂を応援したい方、また、ご興味のある方は下記メール宛になんなりとお問い合わせください。

- 【住所】 杉並区荻窪 4-11-15  
キャプテンズキャビン荻窪
- 【TEL】 03-6311-0426
- 【メール】 ogi4.kodomoshokudo@gmail.com

### 【応援の仕方】

1. 寄附などの金銭的支援をする
2. 食材を寄附する
3. ボランティアとして活動する  
(調理、子どもの遊び相手、学習のサポートなど)
4. 場所の貸出しや物品の寄附をする  
(調理器具や子どもの遊び道具の寄附など)

\*4 [https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/soumu/moni/mon\\_anq51/presssoumu210329.htm](https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/soumu/moni/mon_anq51/presssoumu210329.htm) (インターネット福祉保健モニター 令和2年第2回アンケート結果(tokyo.lg.jp))  
東京都福祉保健局が18歳以上の都民を対象に実施した調査。回答者の8割が「定年退職した後は、地域活動に参加したい」とし、さらにそのうち、6割が「社会貢献・福祉的活動に興味がある」と回答している。

# ANJIN 私のおすすめ



## 『深夜特急』 沢木 耕太郎 著

三級水先人  
野宮 弘貴  
(のみや ひろき)



(新潮文庫)

私が高校生の時、祖母から「深夜特急」という本をいただきました。当時から読書は苦手でしたが、おもしろくて全6巻を一気に読んだ記憶があります。この本は著者の沢木氏がその昔、バスを使って世界を一人旅した経験をもとにした小説です。主人公である「わたし」は日本から香港に渡り、その後アジア～中東を経て、ロンドンまでを陸路で目指します。その中で、現地の人々との出会いと別れを繰り返し、人間的に成長していくというあらすじになっています。

この本の旅は1970年代の話で、当時はインターネットがなかった時代です。スマホやガイドブックもない状況で、海外の事情はあまり知られていません。旅は当然成り行き任せで、道中で様々なトラブルに見舞われます。時には現地の人に助けを求め、時にはトラブルを楽しみながらロンドンへ向かう、そんな冒険の毎日が描かれています。筆者は、「旅の醍醐味は人との触れ合いである」と考えています。

この本は、すぐにどこかに旅をしたい、何かを始めたい、そんなやる気を起こさせる作品です。近年の旅行では、トラブルを嫌い、計画は事前に綿密に立てます。コストパフォーマンスが追求され、スケジュール最優先で時間に追われることになりがちです。旅先での現地の人との触れ合いも希薄になりがちです。思い付きで突然家を飛び出し、そうやって始まる旅もあってもよいのではと再認識させられます。本部 ANJIN 文庫にありますので、手に取っていただけたら嬉しいです。

## 広報チーム 新メンバー 紹介



オペレーション部 主任  
(入会7年目)  
若畑 雄嗣  
(わかはた ゆうじ)

おうち時間で料理をする事が増えましたが、お弁当はまだ9割冷凍食品に依存です…



オペレーション部 係長  
(入会7年目)  
轟 宏道  
(とどろき ひろみち)

40代目前にサーフィンを始めました。



二級水先人  
(入会6年目)  
磯 飛 武  
(いそひ たけし)

昨年秋より、趣味として自転車トライアルを始めました。衰える体力や膝の痛みと格闘しつつも、上達する喜びを感じながら楽しんでいきます。



二級水先人  
(入会7年目)  
松家 辰徳  
(まついえ たつりの)

プラモデル作りが好きです。最近はLEGOにもハマっています。より良い会報を作れる様頑張ります。



# 私のキャリア My Career

vol.18

一級水先人  
増山 正己  
(ますやま まさみ)



南極 ▲

## 「飛鳥 II」乗船時代



▲ウイング

30年以上の社会人生活の中から「私のキャリア」として、「飛鳥 II」乗船時代のことにハイライトして寄稿させていただきます。「飛鳥 II」には2010年5月7日イスタンブール港で乗船以降、途中の2年間の役員勤務を含めて足掛け約8年間お世話になりました。

記憶に残るのは、やはり2016年の南極・南米ワールドクルーズです。100日間を掛けて南極クルーズも含めて23港を周るクルーズでした。非常にテンダーオペレーション<sup>※1</sup>の難しいイースター島。一晩停泊し、目の前で過ごしたピオ11世氷河のあるチリ氷河クルーズ。チリ西岸の荒天により変更したマゼラン海峡の通過。常駐するタグボートが無く、出港スタンバイに約5時間掛けたウシュアイア<sup>※3</sup>への寄港。どの寄港地も思い出深いものとなっていますが、やはり一番は飛鳥 II としてそして自分としても初めての南極海クルーズでした。

夏場でも4～5日周期で大きな低気圧が通過し大時化となるドレーク海峡をうまく通過しましたが、2016年1月24日サウスシェトランド半島にあるボイド海峡を抜けようとした時に、大吹雪と時折風速30m/秒を超える時化となりました。吹雪のため視程も200m程度しか無く、レーダーには大きな冰山や氷塊も映るような海域であり、慎重に一つずつ避けながら気の張りつめた航海が続きました。その後、南下を続けるうちに大陸や島がシェルターとなり、視界も回復し、風も収まってきました。やがて視界が開けて、目の前にトリニティ島とその後ろに南極半島の姿が見えた時には感動すると共に、周囲にある巨大な冰山や氷塊を目の当たりにして一抹の緊張も感じました。そして翌1月25日は、本当に忘れられない一日となりました。前日から南極半島に沿って南下を続けていましたが、思いのほか冰山や氷塊が多く状態が良くありませんでした。予定していたノイマイヤ海峡の通過を諦めて更に南下しようとした矢先に、急に周囲は暗くなり風速15m/秒を超す突風<sup>※4</sup>が吹き出し、一時ドリフティング<sup>※4</sup>をして天候の回復を待つことにしました。やはりこの変わりやすい天候が南極なのかと思い知らされました。



テンダーボート ▲

この頃、長い緊張の連続で疲れもピークになっていたのだと思います。さすがにここまで南下は諦め、反転して北上しようかと迷っていました。その時に、当時の渡辺副船長と吉田ホテルマネージャーがブリッジに来て、「しばらく交代しますから少し休んで下さい」と声を掛けてくれました。確かに今のままでは良い判断ができないと思い一旦、部屋で休むことにしました。そして15～30分くらい休んででしょうか。ブリッジに戻ると見る光景が一転していました。

前日そして今朝方の天候が嘘であったかのように快晴となっていました。晴れ渡る真っ青な空と海。そして雪化粧をした真っ白な山々のコントラストが素晴らしく、まさしくここが南極といった、今まで見たことのない景色が広がっていました。

ブリッジの上のデッキには大勢のお客様が喜び走り廻る声が聞こえました。飛鳥 II の周りには、クジラ、ペンギン、アザラシ等の動物たちが本船の南極クルーズを歓迎しているかのように迎えてくれました。その後、南下を続けて予定した地点、南緯64度57.8分、西経63度23.6分にまで到達することが出来ました。1月25日14時10分のことでした。あの時、副船長とホテルマネージャーの言葉が無かったら、諦めて達成出来なかったと今でも思います。

ここでは本当に少しのエピソードしか伝えていませんが、飛鳥での約8年間その他にも沢山の思い出がありました。

そして2017年末の「ニューイヤー サイパン・グアムクルーズ」をもって飛鳥クルーズを卒業することになり、2018年1月4日に横浜港で「船乗り」として最後の下船となりました。本当に大勢の乗組員に助けられて無事に大役を務めあげることが出来た達成感とともに一抹の淋しさも感じた日となりました。

### 飛鳥IIでの乗船の記録

乗船日数：1209日(船長として946日)  
航海距離：285,772NM(船長として223,255NM)  
総寄港数：607港(船長として510港)  
船長就任後寄港達成率：99%(抜港7回)  
達成クルーズ本数：178クルーズ  
乗船されたお客様人数：延べ120,756人

※写真提供:優先クルーズ株式会社

※1…大型船が着岸不可能な港では「テンダーボート」と呼ばれる操縦性能の良い救命艇兼上陸用小型艇を使って上陸を案内するサービスのこと。  
※2…南極大陸を除く世界最大のバタゴニア氷床から流れ出る最大の氷河。  
※3…アルゼンチン最南端の島にあり「南極に最も近い街」とも呼ばれる。  
※4…入港予定時間等の調整のため安全な海域でエンジンを止め漂流すること。

# MY FAVORITE



一級水先人  
大矢 賢太  
(おおや けんた)

## 1 はぜ、2 はぜ — 珈琲ライフ —

皆様の中にも珈琲がお好きな方はたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか？

何を隠そう私もそのうちの1人です。学生時代はインスタント珈琲ばかり飲んでいましたが、徐々においしいものを求めるようになり、最近では自分で生豆を

取り寄せて焙煎するまでになりました。

お店でおいしい珈琲と出会ったときは、豆の種類は何か？焙煎度合いはどうか？など気になります。後日、その生豆を取り寄せて焙煎し、味の違いを比べることもあります。お店のような味はなかなか出せないのですが、その方法を試行錯誤する事も自分で焙煎する醍醐味です。

写真の珈琲豆は、最近私のお気に入りの「Indonesia Mandheling Blue Batak」です。

この豆は風味も良くコクがあり、ホットはもちろんアイスでもとてもおいしくいただけます。

私はこの豆を、フルシティロースト（“2 はぜ”<sup>※</sup>まで）にしています。



◀ 生豆



▲ 焙煎した後の豆  
◀ (2 はぜ)



私は、自宅ではいつも珈琲をはハンドドリップで淹れています。焙煎したての新鮮な豆にお湯を注ぐと、ガスがぬけて豆が膨らみ、部屋中が珈琲の香りです。このように豆の膨らみや香りを味わいながらお湯を注いでいます。

リラックスするため、眠気覚ましのため、ときには集中するため...理由は様々ですが、これからも自分の生活の中で珈琲を楽しんでいきたいです。

※ 珈琲豆を焼いていくと、あるところでポンポンと珈琲豆がはじけてきます。ポップコーンを焼いたときに似ています。1回目にはじけることを1はぜと言い、その後も焼きつづけるともう一度珈琲豆がはじけます。これを2はぜと言います。どの段階で火を止めるかで焙煎度が変わってきます。

▲ ハンドドリップ



三級水先人  
藤沢 一樹  
(ふじさわ かずき)

## 横須賀事務所周辺探訪

突然ですが、皆さんは「サンマーメン」をご存じでしょうか。私は横浜に引っ越してくるまで名前こそ聞いたことはあっても、食べたことはありませんでした。

▲ サンマーメン

横須賀事務所のある久里浜でおいしいサンマーメンを食べることができたので紹介させていただきたいと思います。

京急久里浜駅東口の久里浜商店街・黒船中通り沿いにある、「札幌や」さんでサンマーメンをいただきました。以前は久里浜の佐原で5年の間、中華一番という名前で営業していたそうです。

和菓子屋があった今の場所で昭和50年4月6日より46年間営業されていて、3年前から二代目に代わり、現在はお母さんと親子二人三脚で奮闘されています。

サンマーメンは人気のメニューで、とろみのついた甘めのスープに細めのストレート麺を合わせています。野菜の甘さと旨味がとてもおいしいです。

サンマーメン以外にもラーメンはもちろんチャーハンや中華丼もおすすめとのことでした。久里浜でお腹が空いた時にはぜひ立ち寄ってみてください。

サンマーメンの発祥は横浜中華街で、料理人の賄(まかない)として生まれたそうです。漢字では「生馬麵」と書きます。生は新鮮でシャキシャキしたという意味、馬は上にのせるという意味です。また、「生碼麵」と書くこともあります。「碼」の字を使って碼頭と書いて埠頭という意味もあるそうなので、横浜港を中心に仕事をしている私たちにとって少し身近に感じられるかもしれません。

横浜中華街発祥ということもあり、中華街はもちろん野毛や横浜駅付近にもサンマーメンを提供するお店がたくさんあります。ぜひ自分好みのサンマーメンを探してみてください。

※参考：「神奈川県中華料理業生活衛生同業組合 かながわサンマーメンの会」

<http://sannma-men.com/origin.html>

▲ 札幌や



# 期待の星

エンジン全開で  
頑張ります

本年9月1日付で入会した  
三級水先人3名を紹介します。

- ①出身は何処ですか？
- ②水先人を志望したきっかけは？
- ③自分自身のアピールポイントは？
- ④休日の過ごし方や趣味を教えてください。
- ⑤今後の抱負を聞かせてください。



三級水先人  
**箕浦 和寛**  
(みのうら かずひろ)

- ①愛知県
- ②国内、外地の水先人の操船技術に憧れたため。
- ③前向きで、ポジティブ思考なところ
- ④バイクでのツーリング
- ⑤安全運航を第一に励み、内外関係者の信頼に足りうる水先人になれるよう努力していきます。どうぞよろしくお願いたします。



三級水先人  
**辻村 嘉晃**  
(つじむら よしあき)

- ①大阪府
- ②学生時代に見た水先人の姿に憧れを抱いたからです。そして、海洋国家日本の海上輸送に貢献出来る事に大きな魅力を感じたからです。
- ③周囲への気配りを常に心がけています。船長をはじめとする乗組員と円滑な関係をいち早く築くことで、安全運航に寄与する一つの手段としていきます。
- ④スポーツジム・銭湯に行くことです。
- ⑤安全運航に貢献できるように、諸先輩方から知識・技術を学ばせていただき、一日も早く信頼される水先人になれるように日々精進していきます。どうぞよろしくお願いたします。



三級水先人  
**鳥光 悠太**  
(とりみつ ゆうた)

- ①千葉県
- ②前職場で時折水先人が乗船される機会があり、その姿を見て操船のプロである水先人に憧れました。
- ③様々な事柄に対して一度疑問に思ったらまず自分で考え、納得するまで調べ試行錯誤することが好きなことです。
- ④子供の相手をしたり、映画を観に行ったりしています。
- ⑤安全運航を第一に技量向上に努め、ご一緒した船長にも満足していただけるような水先人になれるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

## 人事短信

### 水先人・元水先人

#### 【退会】



元一級水先人  
**木下 純一**  
(きのした じゅんいち)  
平成14年1月入会  
令和4年7月31日退会



元一級水先人  
**大宮 博孝**  
(おおみや ひろたか)  
平成18年1月入会  
令和4年9月30日退会

長い間、  
安全運航  
お疲れさま  
でした。



#### 【受賞】

令和4年「海の日」国土交通大臣及び関東運輸局長表彰について  
次の方々が表彰されました。(7月18日付)

- 【国土交通大臣表彰】藤 雄一、堀家 勝、島田 徹之、松倉 吉孝、戸摩 辰雄 (5名)
- 【関東運輸局長表彰】水津 壽雄

#### 【進級】

- 9月1日より、一級水先人として就業を開始しました。  
日向野 史崇、久坂 真一、丸木 栄一郎、田妻 峻、川部 勇 (5名)
- 9月1日より、二級水先人として就業を開始しました。  
鳥海 健

### 職員人事

#### 【異動】

9月1日付けを以って次の通り辞令が発令されました。  
経理部 高野 沙季 (旧職:オペレーション部)

### お詫びと訂正

2022年夏号に掲載しました「人事短信」(15頁)におきまして、誤りがありました。関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

#### 《受章》

黄綬褒章 松下 良興…(誤) 一級水先人  
(正) 元一級水先人

#### 《職員人事》

草間 良子 役職…(誤) 業務部業務支援グループ 係長 (業務支援グループ兼任)  
(正) 業務部業務支援グループ 係長

小坂 謙次 役職…(誤) 業務部次長 兼 千葉事務所長 (業務支援グループ長)  
(正) 業務部次長 兼 千葉事務所 所長 (業務支援グループ長)